

## キンボールレンタル 授業実施レポート

東京大学 前期教養課程 身体運動・健康科学実習 I (サイエンス種目) 担当教員一同

本実習におけるサイエンス種目は、スポーツや実験を通して身体運動の仕組みを理解することを旨とするものである。運動の感覚を楽しみ、周囲とのコミュニケーションを生むことに主眼を置いたキンボールスポーツは本実習のねらいに非常に適合しています。そして何より前回レンタルさせていただいて実施した授業の学生からの評判が非常に良かったため、今年度もキンボールレンタルを利用させていただきました。以下に、本種目を実施した各授業の実施レポートをまとめます。

教員 A(実施人数：男性 18 名、女性 19 名の合計 37 名)

私の担当授業にて、以前にも用具をお借りしてキンボールを実施いたしました。実は、今学期レンタルを希望させて頂いたのは、担当する授業に運動の得意でない学生が多いことが最大の理由です。過去の様子から、キンボールは運動の得意不得意の差が出にくくてちょうどよさそうと思った次第です。誰かがミスしても周りのフォローでリカバーしやすい、一人のミスで失点するということが生じにくいのが、このスポーツの良さだと本日改めて思いました。学生は次第に、誰もいない方に打つ、コールしてから向きを変えて打つ、なるべく水平に近いように打って取りにくくする、などの工夫をし始めました。

私からは唯一、どんな高さに構えてあげると打ちやすそうかチームで話し合うといいよ、というヒントだけ出しました。コートは正規の 20 x 20 m で作りましたが、ボールを大きく飛ばすのに難儀している女性が多く見受けられたため、学生の様子を見ながらコートサイズをアレンジすることも手だと思いました。

教員 B(実施人数：男性 12 名、女性 7 名の合計 19 名)

まず、YouTube の動画でルールを説明した。しっかりした動画であったので、学生はルールをほとんど理解できていた。その後 4 チームに分け、2 チームでウォーミングアップを兼ねてサーブとレシーブの練習を 7 - 8 分程度行った。慣れてきたところで以降試合を行った。1 試合 5 分として、計 4 試合行った。5 分くらいが運動量としてはちょうど良いように感じた。実施場所の天井が低く、横方向にも空間が狭かったため、ゲームの制約になっていた。学生の感想は好評で、ほぼ全員が来学期以降も種目に取り入れるべきとのことだった。

教員 C(実施人数：男性 63 名、女性 27 名の合計 90 名※3 クラス合計)

チーム全員が一丸となって巨大なボールをキャッチし、体勢を整え、構えて打つという一連の動きや、3 チームが同時にコートに入って競うといった競技性は他種目では体験できないものであり、受講した学生達は大いに楽しんでいた。特に、他チームがヒットしたボールをレシーブする際には、ヒットする側のチームがなるべく人がいない方向に飛ばすのに対

抗するため、チームメンバーが散開し、ボールが飛んだ方向に一番近い人がまず一人で拾って持ちこたえるという戦略が有効であったため、全員にチームに貢献する機会が生まれたことは非常に良かった。

幸い本種目を実施する週は広い体育館を利用することができたため、バスケットコート一面を試合エリアとして使い、4チームずつ(試合実施を3チーム、残り1チームは審判でローテーション)、2試合を同時展開で実施した。なるべくボールが場外に出ないようにと広く試合エリアを取ったことで、仕切り直しも少なく試合はスムーズに進んだが、一方でマスクを着用しての実施ということもあり、運動負荷がやや高くなってしまった。マスク着用時の運動負荷の調節についてはまだまだ検討の余地が残るところである。

以上をまとめますと、今年度もキンボールレンタルを利用させていただいたおかげで、種目の趣旨に沿った非常に良い授業を実施することができました。最後になりますが、一般社団法人日本キンボールスポーツ連盟様にあらためて感謝申し上げ、レポートの結びといたします。



写真：授業中の様子